


地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らし暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくあげている	事業所の理念として、入居者と共に地域社会の一員として生活できるように努め、地域の中での公民館活動において、夏祭り、運動会、餅つき等に参加している。	天神山公民館の活動及び天神山小学校の行事に積極的に参加している
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、部屋の見える場所に掲げてあり、全員で理念を読み上げ理念の実践に取り組んでいる	日々唱和することにより理解を深め実践に取り組んでいる
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族が来苑時に理念を理解して頂けるようにしている	家族、地域の方が、来られた時に、よく見えるように玄関に掲示し、地域の行事には、積極的に参加している
2.地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	事業所の行事の時には、隣近所及び、老人会等に文書を出し、参加してもらおうとしている。	入居者の毎日の散歩時には、積極的に挨拶をするように努めている
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	天神山公民館の会員となり、地域の活動には、積極的に参加している	町内会の餅つき大会、運動会、夏祭り、収穫祭等、入居者の方と一緒に参加している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議や誕生月の行事をとって地域の方の要望等を聞いて、高齢者の暮らしに役立つよう取り組んでいる		老人会のサークル活動(カラオケ、手話ダンス等)の発表の場として、毎月の誕生会の参加をお願いしている
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義を理解して指摘されたことは、積極的に改善している		理念の掲示及びカレンダーを大きくして設置するなど具体的に改善に取り組んでいる
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、回を重ねるごとに、いろいろな意見が出るようになったので、サービス向上に活かすようにしている		公民館でのサークル活動の発表の場がないと言うことだったので場所(ホール等)を提供している
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	新しい情報を知りサービスの向上の為にと思い取り組んでいる		研修会等には、積極的に職員が参加している
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	擁護事業や成年後見制度については、研修して理解しているがまだ、機会がない。		現在、入居者の方には、制度の活用が必要な方は、いらっしゃるが、相談があればいつでも対応できる体制をとっている
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止については、職員一同よく理解し、入居者の異変には注意している		入居者の家族の方の依頼により、他の施設で虐待をうけていたような人を他のユニットで受け入れた事例があるので、受け入れる体制もとっている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、利用者や、家族に不安、疑問点を聞き十分な説明をしている。</p>	<p>解約された方は、本人の死亡及び家族の方の事情によるものであり不安等による解約はない</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者の意見は、いつも真剣に聞くように心がけている</p>	<p>玄関に意見箱をもうけ、いつでも意見が聞けるようにしている</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的には、家族には、入居者の近況を報告している。また訪問時に、金銭出納帳を確認してもらっている</p>	<p>毎月の請求書の発送時に、当月に行なわれた行事や来月の誕生会及び行事等を文書にて報告している</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入口に意見箱を置いており、家族等の意見を聞くようにしている</p>	<p>意見箱を設置したり、運営推進会議を開催している</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1回カンファレンスを実施し職員の意見や提案を聞くようにしている。</p>	<p>全職員が参加して、カンファレンスを行い意見を述べている</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者や家族に対して状況の変化や要望に対応できるような雰囲気を用意している</p>	<p>職員の希望などを聞いて、早めに人員を確保している</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者や職員は、レクリエーションをとおしてコミュニケーションを常にし利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>同一敷地内にあり移動しても大して変化がないようにしている</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の採用にあたっては、性別や年齢に関係ない採用をしている。また、年齢層には、幅広く20歳から70歳迄の職員を採用している。</p>	<p>研修会への参加を積極的に行ない、苑内で全職員に研修会の報告をし、勉強会の機会を多く取り組んで行きたい。</p>
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>入居者の人権を尊重する教育を、カンファレンスなどを通じて行なっている</p>	<p>カンファレンスをとって取り組んでいるが、勉強会をもっと多くしていきたい。</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>必要な研修には積極的に職員を参加させている</p>	<p>職員に希望を聞き取り組んでいるが、研修を受ける機会の確保を進めたい</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は、同業者のグループホームを訪問したり、また、電話を通じての情報交換を行ない、お互いのケアの向上に努めている</p>	<p>職員は、研修会、勉強会に参加して意見の交流を行なっている</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休みの希望を十分に取り入れ、働きやすいシフト作りに努めている。</p>	<p>休憩所等を作り、ゆっくりとできる環境を整えている</p>
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>職員の得意とする部分を把握し、それが、活かされる様にしている</p>	<p>日常の勤務を把握している</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居者の意見は、いつも良く聞くように心がけている</p>	<p>機会あるごとに、入居者の話を聞くようにしている</p>
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>月に一回の誕生会等への参加をうながし、話を聞くようにしている。また、小さな事でも、家族に相談したり、家族からの相談も受けている</p>	<p>行事参加や訪問されたときに、話を聞くようにしている</p>
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人の為になるように対応している</p>	<p>本人、家族が納得されるように話をしている</p>
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居などの希望があれば、受け入れている。また、昼食時に、一緒に食事などしながら馴染めるように工夫している</p>	<p>誕生会や昼食への参加を促している</p>
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>洗濯や調理等を一緒にすることによって入居者から、学ぶ事もある。また、歌や本人の好きなことを取り入れ、共に楽しみながら過ごしている</p>	<p>本人の意思を聞きながら取り組んでいる</p>

ライフケアホーム春日苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族に行事に参加してもらい、話を聞くことによって良い関係を築いている		行事等には、なるべく全職員が参加し、共通の話が出来るように工夫している
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族に誕生会などの行事に積極的参加してもらっている。また、いつでも、気楽に来る時ができるように、個人の部屋でゆっくり過ごせる環境も整えている		家族の子どもさんたちも参加しやすいようにしている
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	面会にこられた方と入居者(本人)と外出し、喫茶店で過ごしたり、馴染みの美容室へ行ったりしている		希望があれば、理容や美容室の利用も取り組んでいる
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事中やホールで過ごされているときに、会話が進むように心がけている		食事の席順にも工夫している
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても、ボランティアで行事に参加してもらっている家族もある。		家族との関係の継続を、今後増やして生きたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の話や生活歴を通して、本人の意向にそった介護に努めている</p>	<p>家族にも、話を聞き介護に活かしている</p>
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人や、家族から話を聞き、把握に努めている</p>	<p>家族や友人に話を聞いたり、本人に話をしたりして把握している</p>
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>毎朝、バイタルチェックを行い、その日の心身状態を把握して、個別に対応している</p>	<p>必要な人には、排便、排尿、水分のチェック表を作っている</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や、家族から話を聞くとともに職員どうし、カンファレンスなどで話し合っている</p>	<p>気付いたことは、申し送りノートなどに記入して、介護に活かしている</p>
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>病気、入院などで変化した時には、計画を見直している</p>	<p>日々の介護においても、気付きについては職員間で話し合っている</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日の少しの変化にも対応できるように、職員は申し送りノートを読んでから業務についている。また、変化がわるように個別に経過記録に記入し、介護計画の見直しに活かしている。		その日の業務にはいるときには、申し送りノートを必ず読むようにしている
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望に応じて柔軟に対応している		本人、家族の要望には、できることはすぐに実行するようにしている
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	公民館活動、小学校の行事などに、参加するとともに、苑の行事にも参加してもらっている		消防訓練や、緊急時の対応を現在より充実できるようにする
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のケアマネジャーやサービス事業者との交流はあるが、利用の意向が今のところない		今後は、そういう要望があれば対応していく
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは、情報を交換し、必要に応じて活用していく		必要に応じて対応できるようにしている
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族と話し合い納得されたうえで協力病院を定期的に受診している		協力病院とは、定期的を受診しているので利用者と医師、看護師との信頼関係を築いている

ライフケアホーム春日苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり利用者や認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	家族との信頼関係を築いており、家族より診断や治療を受けられるよう支援している		今後は、家族との信頼関係を、現在よりもっと充実して支援する。
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員に看護職員がおり、毎日の健康管理を行い、協力病院と連携している。		毎日、バイタルチェック表を見て、看護職員と話し合っている
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院されたときには、常にお見舞いを行なうと共に、病院や家族に情報を提供して、早期に退院できるようにしている		入院中は、頻繁にお見舞いに行き状態の把握に努めている。また、洗濯を行なっている。
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化したときの指針を作成し、入居者、家族と話し合い、職員も方針を理解している		家族との話し合いを行ない、文書を取り交わしている
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者が安心して、不安なく良い暮らしが出来るように医師と職員間で話し合うとともに、今後のことも、検討している		職員間で、主治医や看護職の話を聞き理解をふかめるとともに、家族とも話し合っている
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住の際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人や家族の意向をよく聞いて関係者同士が情報交換し利用者が不安にならないよう支援していく		身近な家具や本人が日頃使用している物を持っていくなどアドバイスをしダメージを防ぐようにする

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1.その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員間でプライバシーについて話し合い、個人の記録や情報の取り扱いには、気をつけている。</p>		<p>プライバシーの保護については、日頃より話し合いをおこなっている。記録等は、一目に触れないように管理している。</p>
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人が、どうしたいのか、どんな希望なのかを、常に把握し、小さな事でも気付いて声かけしながら本人に納得できる支援をしている</p>		<p>入居者が納得できるように、時間をかけて行なっている</p>
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>時間にとらわれた介護をしないように職員間で話し合っている。また、本人の生活パターンに合わせてスタッフが働いている</p>		<p>日常生活で、時間に追われないように、ゆっくりと生活してもらっている</p>
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の希望を聞いてから洋服を選んだり、定期的に理容や美容の訪問を受けている。また、その人らしい姿ですこせるように努めている。</p>		<p>定期的に理容や美容の人に苑に来てもらい、本人の希望でカットやパーマをしている</p>
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員も一緒に食事をしたり、入居者のできる配膳や調理、片付けをそれぞれに手伝ってもらっている</p>		<p>それぞれの能力に合わせて、調理、配膳、後片付けなどいろいろなことを手伝ってもらっている</p>
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>行事の時など、お酒などを出している。また、家族が持参したおやつ等は、部屋で食べてもらったりしている。</p>		<p>本人の好みを聞いて、おやつの時に出している</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者の習慣を把握し、職員間でも情報を共有することで排泄が気持ちよくできるようしている		チェック表を作り、個別にあった排泄が出来るように工夫している。
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日は、決まっているが、一人一人に合った入浴が出来るように心がけている。本人の希望や状況によりいつでも入浴できるように支援している		個々の希望により午前、午後に分けて入浴を行なっている
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各自の生活習慣に合わせて利用者と一緒にホールで過ごされたり、自分の個室で休まれるようにしている		ホールでテレビを観たりして好きな時間に休まれるようにしている
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人にあった、手伝いをしてもらうようにしている		個人の意志に合った手伝いをしてもらうように心がけている
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	各自、小口現金を持っておられ買物や行事の時に使ってもらっている。		買物の時、自分の好きな物を買ってもらうようにしている
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望を聞き、散歩や買物、ドライブ等に参加されるようにしている		毎日、散歩を取り入れ、希望のコースを聞いたり季節により時間帯を工夫して歩いている
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	季節ごとに利用者や家族と一緒に花見、紅葉狩り、温泉などに行ったりして、季節に合わせた外出を心がけている		日常の散歩コースが幾つかあり、利用者の希望を聞いて外出している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を取り次いだり手紙は、直接、本人に手渡ししている。また、家族の方にも、いつでも電話されるように話している		個人で携帯電話を持たれている人もいる
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は、設けていないので自由に訪問してもらい、お部屋でゆっくり会話ようようしている		玄関は、いつも明るく、気軽に入れるようにしている
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員間で、身体拘束をしないように話し合い取り組んでいる。現在、拘束の必要な人は、いない。		身体拘束をしなくて良いように工夫している。徘徊の方は日中、散歩や運動してもらって気分転換をはかっている
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解しており玄関にいけばチャイムが鳴るように対応している		職員間で目配りを行かない利用者の所在を把握して、事故のないように取り組んでいる。チャイムが鳴れば職員が玄関に行くようになっている
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間で声を掛け合いながら、利用者の所在や様子を把握しながら安全のために気をつけている		個人のプライバシーに注意しながら、気配り目配りを行なっている
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	各自、個室を持たれており自分の家具を利用されているので、それぞれ設置場所等に危険がないか注意をはらっている		家具の置き場所は、配線に注意し、安全にすごしてもらいようよう工夫している
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員間で、話し合い取り組んでいる情報を共有して事故の防止に努めている。食事、体操など機会あるごとに利用者を確認している		勤務に入る前に職員間で話をし、個人の体調に合わせた介護を行なっている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消火、避難訓練を実施して、職員間で話し合っている		職員が救急法の講習に参加している。自衛消防隊を組織している
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人の協力を得られるよう働きかけている	定期的に、避難訓練を実施したり 運営推進会議をとうして、地域の老人会の人と話し合いを行なっている		地域との交流を深め、協力体制を作っている。公民館、小学校などの避難場所の確認をしている
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクについては、契約時及び機会あるごとに、家族に話をし理解を得るようにしている。		家族には、理解してもらうように機会あるたびに話している。また、危険なことに気付いたときには、職員間で話し合っている
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し対応に結び付けている	毎日、バイタルを計り 体調のチェックを行なっている。変化があれば日勤者、夜勤者それぞれ申し送りを行い、情報を共有するようにしている。異変があれば、早めの対応に努めている。		勤務に入る前に、申し送りノートを読みサインするようにして職員間で情報を交換している
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎日、リーダーがバイタルを計り 体調のチェックを行ない、変化に対応するようにしている。職員は、利用者の薬の副作用、用量について理解しており変化に対応するように努めている		リーダーや看護師が責任を持って支援している。薬を飲むまでに3回のチェックがある
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事の量及び排便をチェックする表があり 毎日、変化に気付くようにしている。食材に野菜を多く取り入れている		看護師や職員間で話し合い個々に合った介護をするようにしている。朝に体を動かす体操を実施している。
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	各自食後は、歯磨きを実施し、口腔の状態を把握すると共に週2回ポリデントを行なっている		定期的に歯科の訪問治療を受けている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量をチェックする表があると共に、体調の悪いときには、水分、排便、尿チェック表を利用して一人一人にあった支援をしている		看護師と話し合いながら、個人にあった介護を行なっている
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は、家族の了解のもと入居者、職員全員が接種している		食事前の手洗い、ウエルパスの設置など取り組んでいる
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器や、調理用具は、塩素酸などで消毒している。また、新鮮な食材を使用し、食中毒の予防に努めている。		苑の畑で作った野菜や宮崎から新鮮な食材を送ってもらって調理して出している
。				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には、花を植え、玄関ホールは、季節の花を飾りいつも明るくして利用者や家族、訪問者が入りやすいようにしている		家族や訪問者には、すぐに職員が対応するようにしている
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設全体、木を基調とした構造で落ち着いた雰囲気でも過ごせるようになっている。玄関には、いつも生花が活けてある		手すりなど入居者が使用しやすいように高さを工夫している。花など利用者と一緒に活けたりしている
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールには、畳の間やソファが設置してあり一人で自由に過ごせたり気の合った利用者ど話ができるようになっている		個人の個室や共用のホールは、自由に使うようになっている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、個人の使い慣れた家具を置くようにして配置は本人に聞いている		個人の希望で、植木や鏡台、テレビなど好みの物を持ってきてもらっている
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気に気を付け、こまめに空調の調節を行い、冬など一日一回は窓を開けている		個室にも空調機があり 個人にあった温度調節を行なっている
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、利用者が利用しやすいようにトイレや廊下には、てすりが設置してあり 歩行の不安定な人も安全に移動できるようにしている		共用の廊下や洗面所でも、車椅子が、自由に使えるように工夫している
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員一同、入居者の方には、自分で出来ることは出来るだけしてもらい失敗しないように見守りしている		入居者の希望に合った行動ができるように話を聞き無理なくできるように気をつけている
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように活かしている	苑の外周りを散歩コースにした！ベランダを日光浴の場として利用している		苑の周りに花を植えたり 洗濯物が干せるように広く作っている

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

ライフケアホーム春日苑

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くない
100	職員は、生き活きと働いている		ほぼ全ての職員が
			職員の 2/3 くらいが
			職員の 1/3 くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の 2/3 くらいが
			利用者の 1/3 くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の 2/3 くらいが
			家族等の 1/3 くらいが
			ほとんどできていない

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者の生活パターンを大切にして、日程の時間に追われることなく、ゆつくりとした日常が送れるように心がけている。また、季節感が感じられるように、季節ごとの行事を行ったり、外出を行なっている。